

英語科学習指導案

平成29年 10月17日 (火)

展開学級

授業者

1 単元名 Lesson 5 “Places to Go, Things to Do”

NEW CROWN ENGLISH SERIES New Edition3

2 単元について

(1) 目標および評価規準

①自らの考えや思いについて、内容が聞き手に伝わるように話すことができる。

(イ 外国語表現の能力)

②自らの考えや思いについて、Opening, Body, Closing の構成で原稿を書くことができる。

(イ 外国語表現の能力)

③他者の考えや思いを聞いたり、読んだりして理解することができる。

(ウ 外国語理解の能力)

④間違いを恐れず、自らの考えや思いを相手に伝えている。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

⑤言語材料に関する知識や文法を身につけている。

(エ 言語や文化についての知識・理解)

(2) 単元観

本単元では、Ken や Raj などの登場人物たちが、それぞれの訪れたい国や場所の特徴と、そこで何を体験したいのかが発表やスピーチの形式で紹介されている。GET ではモンゴル、アメリカ、ケニヤ、USE-Read ではブラジルが取り上げられている。2016年にオリンピック、パラリンピックの開催国になったことは記憶に新しい。この世界的祭典が3年後には東京で開催される。外国の生活や文化に触れながら、様々な国に対する興味を掻き立てられる単元である。

登場人物たちが、本や絵はがきなどを持ち寄り、視覚に訴えるような工夫を施しながら発表する姿を、生徒たちが発表をする際の手本となるようにし、最終的なスピーチの発表の際には姿勢や視線はもちろん、写真やジェスチャーなどを工夫して積極的に発表できるように指導する。

また、本単元の文中では関係代名詞が扱われている。Speaking の活動で自分が2文で話していたことを writing の活動で1文にまとめられると気づかせることで、話題となっている名詞を最初に紹介し、それを、後から詳しく説明する用法であることを理解させるようにしたい。

3 生徒の実態

4 指導と評価の計画 (13時間扱い)

時間	○ねらい ・学習活動	目標 (評価規準)	評価方法
①	○本単元で身につける技術や理解する内容を知る。 ・外国の観光地等の写真を見ながらリード文を聞き、この単元で学ぶことを知る。 ○関係代名詞 (主格) that を用いた文構造を理解する。	⑤	後日ペーパーテスト

	<ul style="list-style-type: none"> 関係代名詞（主格）that を用いた文構造を知る。 関係代名詞（主格）that を用いた文を使えるように練習する。 		
②	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞（主格）who/which の用法を理解する。 関係代名詞（主格）who/which を用いた文の構造を知る。 関係代名詞（主格）who/which の文を使えるよう練習する。 	⑤	後日ペーパーテスト
③	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 Get1,2 の本文の内容を理解し、音読する。 ○関係代名詞を用いた英文を聞いたり、話したりする。 	③	後日ペーパーテスト
④	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞（目的格）that/which の用法を理解する。 関係代名詞（目的格）that/which を用いた文の構造を知る。 関係代名詞（目的格）that/which の文を使えるよう練習する。 	⑤	後日ペーパーテスト
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 Get3 の本文の内容を理解し、音読する。 ○関係代名詞を用いた英文を聞いたり、話したりする。 ・久美とブラウン先生の会話を聞き、その内容を理解する。 	③	後日ペーパーテスト
⑥	<ul style="list-style-type: none"> ○教科書 Get1～3 の内容を整理する。 ・内容を retelling する。 	①④	活動の観察
⑦	<ul style="list-style-type: none"> ○USE Read "Brazil"の内容のおおすじをつかむ。 ・与えられたタスクに答える。 	③	ワークシート
⑧	<ul style="list-style-type: none"> ○USE Read "Brazil"の内容を整理する。 ・与えられたタスクに答える。 ・内容を retelling する。 	①③④	ワークシート 活動の観察
⑨	<ul style="list-style-type: none"> ○関係代名詞の復習 ・本単元で学習した関係代名詞を正しく使えるように練習する。 ○Use Speak のエマのスピーチを読む。 	①④	ワークシート 活動の観察
⑩	<ul style="list-style-type: none"> ○様々な国の地域やスポーツ、食事、動物、名所について知る。 ・興味のある国や地域について興味をもって調べようとする。 ○自分が調べた場所と、そこでできることについてのメモをもとにグループで情報交換をする。 	①④	ワークシート 活動の観察
⑪ 本時	<ul style="list-style-type: none"> ○グループで共有した情報（マッピング）を元に国紹介の即興スピーチをする。 ○仲間のスピーチに対して感想を述べたり質問をする。 ○国紹介のスピーチ原稿を簡単に書く。 	④	ワークシート 活動の観察
⑫	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチ原稿を仕上げる。 ・関係代名詞が適切に使えているか、友人や教師と確認する。 ・グループで互いの書いた原稿を読み合い、より良い内容になるように助言し合う。 	②④	ワークシート 活動の観察
⑬	<ul style="list-style-type: none"> ○相手に伝わりやすいスピーチを考えながら発表練習をする。 ・グループでリハーサルをし、発表の観点をもとに、より良いスピーチができるように共同学習する。 ・1週間後に学級内発表会を実施する。 	①④	活動の観察

話すこと(発表):与えられたテーマについて即興で、英語で相手に伝えることができる。

Project 2 日本文化を紹介しよう

Lesson 5 “Places to Go, Things to Do”の単元の目標

自らの考えや思いについて、内容が聞き手に伝わるように話すことができる。

(イ 外国語表現の能力)

USE-Speak 行きたい国についてスピーチしよう

- ・仲間のアドバイスを元に、スピーチ原稿を書く。クラス発表に向けて、相手に伝わりやすいスピーチの方法を工夫しながら練習する。
- ・行きたい国と、その国を紹介する内容をメモを参照しながら、簡単な英語で相手に伝えることができる。

USE-Read

(説明文の要約)

ケンがブラジルでいたいことについて、1, 2段落のトピック (soccer, carnival in Rio) を整理し、簡単なメモを参考に要点を説明することができる。

GET1~3

(説明文の要約)

クミ、ラージ、メイリンの発表内容について、簡単にメモをまとめ、メモを参照しながら、簡単な英語で説明することができる。(retelling)

物語文の要約③

“Dolphin Tale”のストーリーを、起承転結を意識しながら簡単にメモにまとめ、メモを参照しながら、簡単な英語で説明することができる。(retelling)

物語文の要約②

“Story of Sadako”のストーリーを、時系列を意識しながら簡単にメモにまとめ、メモを参照しながら、簡単な英語で説明することができる。(retelling)

物語文の要約①

“Landmines and Akira”のストーリーを、時系列を意識しながら簡単にメモにまとめ、メモを参照しながら、簡単な英語で説明することができる。(retelling)

帯活動での積み重ね学習

① インプロンプトスピーチ

40のトピックカードの中からランダムでカードを引き、そのテーマについて、簡単にメモを作成してから、それを参考にしながら話しをする。

② スモールトーク

与えられたトピックに対し、ペアで1分間会話を続ける。相槌や質問、自分の意見などで話を広げる。

③ SummaryとQuiz

教科書本文 (GET) の内容を日本語で簡単に相手に説明する。本文の内容について、パートナーにクイズを出す。Summaryは日本語。Quizは慣れてきたら英問英答で行う。

6 本時の活動（第11時）

(1) 本時の目標

間違いを恐れず、自らの考えや思いを相手に伝えている。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

(2) 本時の展開

過程（時配）	学習内容と活動	指導上の留意点	評価
導入 (12)	<p>○英語で挨拶をする。</p> <p>○インプロンプトスピーチ活動をする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・40のトピックカードから1枚を引く。1分で話す内容のメモを作成する。その後、パートナーにメモを参照しながらトピックについて話していく。 ・パートナーの話が終わったら質問や自分の考えを述べる。 ・話し手としての評価は相手にしてもらい、聞き手としての評価は自己評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・英語学習の雰囲気を作る。 ・評価規準を掲示し、目標が意識しやすいようにする。 ・短く、簡潔にメモを作成するように促す。 ・活動途中で生徒の良いモデルがあれば紹介し、全体の学びにつなげる。 	活動の観察 (関心意欲態度)
展開 (28)	<div data-bbox="354 1034 1378 1106" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> 行きたい場所について、友だちに伝えよう。 </div> <p>○マッピングを作成する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時にグループで共有した情報から自分に必要な情報を抽出し、マッピングを作成する。 <p>○簡単な英語で説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の行きたい国についてマッピングを参照しながらグループ内で、簡単に英語で説明し合う。 <p>○グループ内で<u>アドバイス</u>をし合う。(ペア)</p> <p>【内容面のアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分が言えなかった表現について。 ・付け足した方が良い表現について。 <p>(聞き手を巻き込む工夫や自分の意見の述べ方など)</p> <p>【態度面のアドバイス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アイコンタクトやボリュームについて。 ・写真の効果的な利用について。 <p>○他グループの友人と発表し合う。(ペア)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他のグループの友人の説明を聞いて、 	<ul style="list-style-type: none"> ・Hi, friends2のLesson 5 (I want to visit～)の部分を導入として紹介する。 ・トピックは2～3つに絞り、情報量が広がりすぎないように助言する。 ・箇条書きのような説明になっても可とする。あえて関係代名詞を使うように促さない。 ・机間指導をしながら、生徒が言いたくても言えなかった表現をピックアップして、全体で共有する。 	活動の観察 (関心意欲態度)

	質問をする。 ・聞かれて答えられなかった情報や、まねしたい表現についてメモをしておく。		
まとめ(10)	○友人のアドバイスを参考にしながら、伝えたことを文字におこす。 ○本時のまとめをする。 ・活動に対する自己評価をする。 ○挨拶をする。	・机間指導をしながら、何人かの生徒の英文を書画カメラでテレビに写し、全体で共有しながら、友人のアドバイスの取り入れ方などを参考にさせる。 ・次回、スピーチ原稿をさらに深めるために、友人から出た質問や感想を参考にすることと、追加したい情報は調べてくるように指示する。 ・ワークシートを回収する。	ワークシート(関心意欲態度)

(3) 本時の評価

間違いを恐れず、自らの考えや思いを相手に伝えることができたか。

(ア コミュニケーションへの関心・意欲・態度)

1. 評価方法

1 1時間目に、ペア・グループにおける練習で英語を用いて話しているかの観察をする。

【行きたい国についての紹介】

「おおむね満足できる」状況(B)と判断した具体例

S1: I want to visit Australia. I want to visit Uluru. It's very beautiful. And I want to hug koalas. They are very cute. I want to take many pictures.

S1はつながぎ言葉や、問いかけの工夫はないが、躊躇せず発話しようとしていた。

ジェスチャーやアイコンタクトを用いて聞き手を意識した発表をしていたため「B」と判断した。

「十分満足できる」状況(A)と判断した具体例

S2: I want to visit Australia. I have two things I want to do there. First, I want to visit Uluru. Do you know this rock? It is a famous rock which is visited by many people. Second, I want to hug koalas. Have you ever hugged koalas? Also, I want to take some pictures with them.

S2は躊躇せずに発話しようとしていることに加え、つながぎ言葉や問いかけにより相手に伝わりやすく話し、ジェスチャーやアイコンタクトを使って間違えることを恐れず、積極的に発話しようとしていた。従って、評価は「A」と判断した。

情報量についての評価は、行きたい国を伝え、1つのことならについてしか述べられなければ「C」、2つのトピックについて扱っていれば「B」、それ以上、もしくは2つのトピックを掘り下げて話すことができれば「A」と判断した。

【インプロンプトスピーチ】

前時までの帯活動において練習したインプロンプトスピーチカード1枚について4文以上の英語を話すことを条件とする。生徒の発表を観察しながら、正確さよりも流暢さを評価する。後日、パフォ

ーマンステストも行う。

「おおむね満足できる」状況（B）と判断した具体例

（例） Please tell us about your favorite sport.

I'm going to tell you about my favorite sport. My favorite sport is soccer. I play soccer with my friends every day. It's interesting. Thank you.

習熟に向けて練習の余地が感じられるもの4文を発話しており、適切に表現できていたため、「おおむね満足できる」状況（B）と判断した。

「十分満足できる」状況（A）と判断した具体例

I'm going to tell you about my favorite sport. My favorite sport is soccer. I am in the soccer club. I play soccer with my friend every day. I like soccer because it is exciting. I am not a good soccer player but I love it very much. Thank you.

4文以上の英語を流暢に話しているとともに、音声表現にも問題がなく、代名詞を用いたり、but や because などの接続詞を使って全体として、にこやかに自信を持って、一貫性のある発表をしていたため、「十分満足できる」状況（A）と判断した。

「努力を要する」状況（C）と判断した具体例

I'm going to tell you about my favorite sport. Soccer..... Thank you.

好きなスポーツについては言えたが、内容や一貫性のある発話となっていないため、努力を要する状況（C）と判断した。

行きたい国について友だちに伝えよう

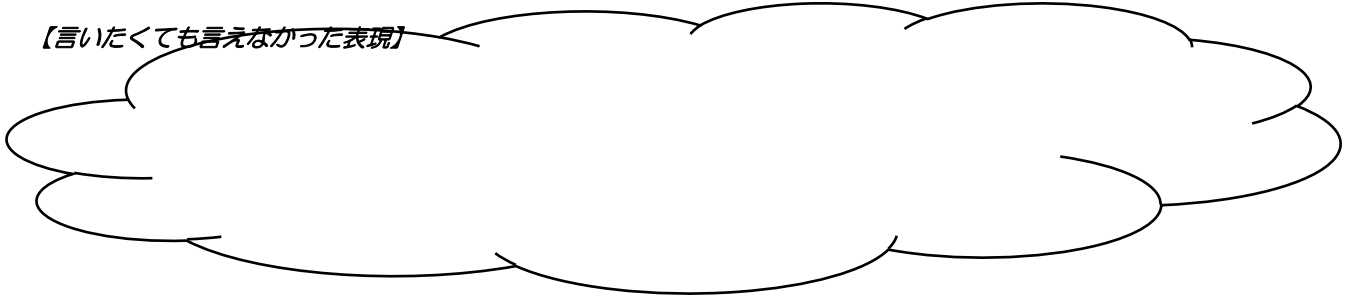
class _____ name _____

step 1 グループの情報を参考に自分のマッピングを作成しよう。

☞ 自分の使いたい情報に色をつけよう。

step 2 マッピングを参考に簡単な英語で伝えよう。(個人練習)

【言いたくても言えなかった表現】



step 3

同じ国を調べた友だちからアドバイスをもらおう。

【内容面★友だちのアドバイス】

*STEP2の【言いたくても言えなかった表現】も含む

【態度面★友だちのアドバイス】

自己評価

- 間違いを恐れず、英語で伝えることができた。
- アイコンタクトを意識できた。
- まとめや感想、考えを付け足して説明できた。

step 4 友だちのアドバイスを参考にし、他のグループの友だちに説明しよう。

☞ どんな質問をされたかメモをしておき、スピーチに生かそう！

メモ

質問できた回数 1回目(回) 2回目(回)

自己評価


- 間違いを恐れず、英語で伝えることができた。
- アイコンタクトを意識できた。
- まとめや感想、考えを付け足して説明できた。

参考資料②

スピーチ原稿を要約しよう

class _____ name _____

step 1 p60. 61 の内容をマッピングにまとめよう



Brazil



step 2 英語で伝えよう。

- 自己評価 アイコンタクトを意識できた。
- を用いて説明できた。 まとめや感想、考えを付け足して説明できた。

絵

step 3 英文にしてみよう。

- 自己評価 導入の工夫 つなぎ言葉 自分の意見や感想

step 4 英語で伝えよう。

- 自己評価 アイコンタクトを意識できた。 絵を用いて説明できた。
- まとめや感想、考えを付け足して説明できた。